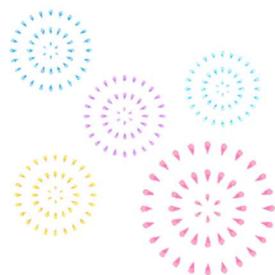


オレンジカフェ通信

8月・9月号



みなさん、お元気ですか。暑い日が続いていますが、夏バテしていませんか。
 前回少しお伝えしましたが、今年自宅の軒下にツバメが巣を作り、先日2羽のヒナが巣立って行きました。巣立つまでは、ヒナが落下したり、へびに狙われたりと困難はありましたが、いざという時ツバメは集団で助け合いヒナを守っていました。無事に巣立ってよかったです。
 また8月は、14日(火)19:30から花火大会が開催されます。楽しみですね。
 さて、オレンジカフェ通信ではたくさんの人に認知症やその活動を知っていただけるよう紹介します。

オレンジカフェ

「オレンジカフェ」は、認知症や介護について学び、相談できる通いの場です。
 また日頃思っていることを人と会話や交流することで、心を軽くしてみませんか。
 興味のある人、当事者、介護者、リフレッシュしたい人、ぜひお出掛けください。



8月15日(火)
お盆のため、お休み

9月19日(火)
「免疫力を高める食事について」
群馬ヤクルト販売株式会社
平賀 友奈 さん

毎月第3火曜日13:30~16:00
 にこにこ甘楽 地域包括支援センター
 出入り自由で、予約は必要ありません。

「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違い

もの忘れには、正常な「加齢による(年相応といわれる)もの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」があります。この二つのもの忘れの違いを区別できればいいのですが、現実にはなかなか難しいものです。これがすべてではありませんが、認知症に気づくサインは次のようなものがあります。

- もの忘れのために日常生活に支障をきたしている
- 本人が忘れっぽくなったことを自覚できなくなっている
- もの忘れの範囲は全体になっている

例えば、朝ごはんのメニューが詳しく思い出せない：加齢によるもの忘れ
 朝ごはんを食べたこと自体を忘れる：認知症によるもの忘れ
 生活に支障をきたしているようであれば、地域包括支援センターにご相談ください。

オレンジ文庫 本の紹介



「MAGAZINE HOUSE MOOK クロワッサン特別編集
 新装版 介護の「困った」が消える本。」
 出版社 (株)マガジンハウス 2023年2月1日発行

2020年7月、健康情報番組の中で、アルツハイマー型認知症とレビー小体型認知症を併発していることを公表した漫画家の蛭子能収さん。

現在介護保険で週2~3回ほどショートステイを利用。病院や外出時は事務所のスタッフが付き添っています。妻には「ありがとう」と言えるようになり、「自分が笑って、見ている人も笑ってくれたらすごくうれしい」と蛭子さんは語っています。

2023年度 世界アルツハイマーデー標語決定!

『もっと知ろう もっと語ろう 認知症』



1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。

にこにこ甘楽や図書館ら・ら・かんらでは、認知症を知ってもらうために9月は展示等を企画しています。お楽しみに♪



高齢者のよろず相談
 甘楽町地域包括支援センター
 67-5182(直通)

〒370-2213
 甘楽町大字白倉1395番地1 にこにこ甘楽内
 月~金(祝日・年末年始を除く)8:30~17:15

前号は、甘楽町ホームページまたはQRコードからご確認ください♪

